

四谷大塚	5年							
	算数							
学習内容	7月の学習内容 18回 数列と数表 19回 図形上の点の移動 20回 総合（予習シリーズ5年㊤ 第16回～第19回） 夏期講習 比・相似・素因数分解・物体をしずめる問題 など							
家庭学習 ポイント	第18回は数列と数表について学習します。数列は等差数列、群数列、階差数列など種類によって考え方、解き方も様々ですが、近年の入試問題では「手を動かすと決まりが見つかる」という問題が主流です。公式、解き方を覚えることも大切なのですが、底に至るまでの考え方、手順をしっかり理解して解くようにしましょう。数表も同様で「どこまで書いてどこからを計算で処理するか」を判断することが重要です。こちらさまざまなタイプがありますが、取り組みとしては数列と同じく「書く⇒決まりが見つかる」ですね。19回は図形上の点の移動です。図形上を点が移動することで、移動した点を結んでできた図形について考えます。こちら点が多動いた様子を図に書き込んで考えますが、問題に記載されている図を使うだけでなく、自分でも図を書いて考える習慣をつけることが大切です。5年生の夏期講習は日程がかなりタイトで、お盆の期間の5日休み以外はまとまったお休みがありません。復習のサイクルが慌ただしくなりますので、課題に「忙殺」されないよう注意が必要です。							
課題の把握と解決策	チェック1	等差数列の「□番目」の数を出すとき「-1」をする理由が説明できますか？						チェック
	解決策	数が□個あると「数と数の間」は「□-1」個だからですね						□
	チェック2	数列の問題の「解き方」だけを覚えようとしていませんか？						チェック
	解決策	つねに「この式で求められる理由は？」を考えながら解くようにしましょう						□
	チェック3	数表の問題で「すべて書く」ばかりになっていませんか？						チェック
	解決策	さすがに数百の数を書き出すのは時間がかかります。きまりは見つかったでしょうか？						□
	チェック4	図形上の点の移動で、1つの図にたくさん書き込みすぎていませんか？						チェック
	解決策	複数の小問を1つの図で、はミスのもと。自分で一から図を書く習慣をつけましょう						□
	チェック5	夏期講習の復習サイクルのイメージができていますか？						チェック
	解決策	夏期講習のカレンダーとカリキュラムを確認し「いつ復習する？」を考えておきましょう						□
四谷大塚	5年							
	国語							
学習内容	7月の学習内容 18回 物語・小説（5）／主題① 敬語①／対義語② 19回 物語・小説（6）／主題② 敬語②／四季の言葉（春・夏） 20回 総合（予習シリーズ5年㊤ 第16回～第19回） 夏期講習 物語・小説・説明文・論説文など							
家庭学習 ポイント	第18回～19回にかけ「物語・小説」の読解が続きます。文章の主題をつかむ練習です。物語文の主題をつかむポイントは、登場人物の気持ちや、人間関係の変化に注目することです。登場人物の気持ちの変化は、場面や情景の変化などを用いて表現されることも多く、場面や情景描写が変化したら登場人物の心情変化を表しているのでは、と考えてみるとよいですね。また18回、19回では敬語についても学習します。3つの敬語の種類と違いをまずは理解することが大切です。敬語に限らず、語彙を学ぶときは例文、使われる代表的なシチュエーションとともに理解することがポイントで、「具体的に●●のような場合に□□のように使う」と理解して記憶しておきましょう。19回では四季の言葉についても学習します。詩の表現技法についての知識や、「予習シリーズ」に登場する四季に関する言葉については覚えておきましょう。和語と併せて入試で出題されやすく、かつ点差がつきやすい分野です。							
課題の把握と解決策	チェック1	お子さんは敬語を正しく使えていますか？						チェック
	解決策	お父さん、お母さんが実際に使うシチュエーションについて教えてあげるといいですね						□
	チェック2	物語文の読解において登場人物の心情を正しく読み取れていますか？						チェック
	解決策	場面の变化、情景描写の変化などに注目しましょう						□
	チェック3	語彙を増やす努力をコツコツと続けていますか？						チェック
	解決策	予習シリーズで出てくるたびに記憶の作業を行っておきましょう						□
	チェック4	和語の知識がたくさんついていますか？						チェック
	解決策	和語についてはふだんから親子で使うとどんどん語彙が広がっていきます。						□
	チェック5	夏期講習は復習サイクルが慌ただしいことを理解していますか？						チェック
	解決策	その日に学んだことはその日に理解、くらの心構えでいきましょう						□

四谷大塚	5年							
	理科							
学習内容	7月の学習内容 18回 植物のはたらき 19回 地球 20回 総合（予習シリーズ5年㊥ 第16回～第19回） 夏期講習 植物のつくりとはたらき もののあたたまり方 月の満ち欠け てんびんとばね など							
家庭学習ポイント	第18回「植物のはたらき」では「光合成」「呼吸」「蒸散」といった植物が生きていく上で行っている活動について学習します。光合成は「二酸化炭素と水を原料に、日光のエネルギーを利用して葉緑体内で酸素とデンプンを作り出すはたらきですが、このことと同時に「呼吸と真逆のはたらきである」ということもおさえておきましょう。光合成でできたデンプンを確認する実験では、葉をアルコールや熱湯に浸す理由を答えられるようにしておきましょう。蒸散作用の実験問題に関しては、表に書いて整理して解くのが「定石」となっています。見比べやすく間違いにくい方法を身に付けてしまいましょう。第19回「地球」をはさんで20回「総合」を終えると夏期講習会に入ります。夏期講習会に入ると「4日連続授業＋1日休み」といったサイクルで授業が続いていきますからふだんの「一週間で1単元」にくらべると何倍ものスピードでカリキュラムが進みます。既習単元が多いとはいえ、かなりのスピードに「忙殺」されがちになりますから注意が必要です。							
課題の把握と解決策	チェック1	光合成と呼吸が全く逆のはたらきであることを理解していますか？						チェック
	解決策	光合成はエネルギーを利用して栄養分をつくり、呼吸では栄養分からエネルギーを作り出します						□
	チェック2	蒸散の計算問題では、表を書いて考えていますか？						チェック
	解決策	考え方としては算数の消去算に近いものです。表解が定番ですね						□
	チェック3	地球の直径、赤道の全周の長さを答えられますか？						チェック
	解決策	直径は約13500km、赤道の全周は約40000kmですね						□
	チェック4	夏期講習の復習サイクルのイメージができていますか？						チェック
	解決策	夏期講習のカレンダーとカリキュラムを確認し「いつ復習する？」を考えておきましょう						□
	チェック5	夏休みまでに「テコ入れ」すべき単元をリストアップしていますか？						チェック
	解決策	1学期に行われたテストを確認し、テコ入れしておきたい単元をリストアップしてみましょう						□
四谷大塚	5年							
	社会							
学習内容	7月の学習内容 18回 日本のおもな都市 地形図の読み方 19回 統計資料の読み方 20回 総合（予習シリーズ5年㊥ 第16回～第19回） 夏期講習 産業別地理・地方別地理・国際政治情勢・歴史の予習 など							
家庭学習ポイント	第18回は日本のおもな都市と地形図の読み方について学習します。政令指定都市などの、地方の中心都市について整理し、地図記号の暗記に加えて、演習問題集などで実際に地図を読み取る練習を十分に行っていきます。19回では統計資料の読み取り方について学びます。地方別地理や産業別地理で学習したことのまとめにもなっています。統計資料ごとに、その資料から読み取れる特徴が「なぜ」生まれるのかを確認しながら学習を進めていきましょう。20回「総合」をはさんで夏期講習が始まります。夏期講習では日本の産業別地理、地方別地理を再度復習し、地理分野の総仕上げとなります。一部、歴史の予習内容も含まれます。9月からは歴史の学習が始まり、5年生の終わりまで歴史一色の学習になります。夏の学習までで地理の知識をしっかりと仕上げておきたいですね。							
課題の把握と解決策	チェック1	地理の学習の「スタイル」は決まってきましたか？						チェック
	解決策	地図帳、白地図を併用し、日本のどこにあるのか、地形はどうかを把握しましょう						□
	チェック2	100万都市と政令指定都市を地図上で答えられますか？						チェック
	解決策	名前だけでなく地図上のどこかを答えられるようにしておきましょう						□
	チェック3	政令指定都市の人口トップ3は？						チェック
	解決策	横浜市・大阪市・名古屋市ですね						□
	チェック4	等高線の形から谷と尾根を答えられますか？						チェック
	解決策	丸暗記ではなく「谷へ向かって進むと標高が低くなるから」と理屈で答えられるようにしましょう						□
	チェック5	9月からあと、5年生ではもう地理の学習がないことを把握していますか？						チェック
	解決策	この夏、しっかり知識を完成させておきたいですね						□